

小学校 低 学年<1・2—(3)>

学 年	1年 2年	時 間	学級活動 or 短学活 「防災〇×クイズ」	時 期	適時	時 数	15分～45分 問題数や経験有無・場所等で調整可能
目 標	発達段階に即した防災に関する知識を、クイズ形式で実施することにより、楽しく主体的に身につけることができる。						
資料・準備	消防庁「チャレンジ! 防災48」防災〇×クイズ、 実施場所①体育館や多目的スペース等広い空間→「〇」、「×」区域と「残念スペース」設定 ②教室等狭い空間→「〇」、「×」カード(裏表)、または、準備なしで腕か指サイン						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 ルールの説明を聞く。</p> <p>◇これから話すルールをよく聞いて、楽しくゲームをしましょう。</p> <p>*ルール</p> <p><体育館等広い空間の場合></p> <p>①自分で考えてクイズの答えの方に移動</p> <p>②ゲームの終わりはタイムオーバーか正解者残りが少なくなったとき</p> <p>③間違えたら「残念スペース」へ行くが、「敗者復活問題」で、再度挑戦できること。</p> <p><教室等狭い空間の場合></p> <p>①自分で考えクイズの答えを挙げる(カードか腕ジェスチャー) (立って意思表示)</p> <p>②は広い空間の場合と同じ</p> <p>③間違えたら椅子に座るが、「敗者復活問題」で、再度挑戦できること。</p> <p>◇練習をしてみましょう。 (例：鳥取県で地震が起きたことはない。〇か×か?) (例：体育館にはピアノがある。〇か×か?) (例：校長室には大型金庫がある。〇か×か?)</p>	<p>○体育館等広い空間で実施する場合は、火災や地震等の災害の問題に〇か×か、自分で考えた答えの方に、人とぶつからないよう注意して移動するよう指示する。</p> <p>○教室等狭い空間で行う場合は、〇×カードか腕や指で〇×を表すジェスチャーで答える。</p> <p>○この〇×クイズの問題の内容をよく聞いて覚えておくと、いざというときに自分や家族の命を守ることができるかもしれないので、自分が間違っても正解の人の答えをよく聞いて覚えて帰るよう伝える。</p> <p>○「敗者復活問題」は、適時を判断して、今まで出した問題の中から出すことを、ゲームの初めに伝えておく。</p> <p>○一問に要する時間や合図の音(笛、タイマー音、タンバリン等)を決めておいた方がよい。</p> <p>○簡単な問題で一度練習する。防災に関係ないおもしろ問題でも可</p>
展 開	<p>2 防災クイズを実施する。</p> <p>◇それでは始めます。自分でよく考えて移動しまし<u>ょう</u>(答えましょう)。</p> <p>◇なぜそうだと思いますか。(〇×各2名位発表する。)</p> <p>◇答えを発表します。 (発表後、具体的な解説を行う。)</p> <p>◇「敗者復活問題」を出します。</p> <p>◇以上で終わります。残っている人に大きな拍手をしましょう。</p>	<p>○開始直後に解説をしっかりと聞いていると正解できるよう、同じ問題を出すと効果がある。</p> <p>○間違った人は「残念スペース」へ移動します。(座ります。)</p> <p>○「敗者復活問題」を適当な時に入れる。この問題は、これまでに出した問題の中から出すことで、「残念スペース」にいても(座っていても)、しっかりと解説を聞く姿勢や、ゲームに参加している態度へとつながる。</p> <p>○学校開放デーや参観日、また、親子会で実施し、保護者などにも一緒に参加してもらおうと家族で覚えることができ、また盛り上がる。 ☆どの問題にも真剣に考えることができたか。 ☆問題の解説をしっかりと聞くことができたか。</p>
ま と め	<p>3 学習のまとめ、ふりかえりをする。</p> <p>◇心に残ったクイズや内容を発表してください。</p> <p>◇今日覚えたことはいつ役に立つかもしれないので、しっかりと覚えておきましょう。家で家族のみんなとも確かめておきましょう。</p>	<p>○本日のクイズを家族にも出してみるよう、心に残ったクイズを書きとめさせる。</p> <p>○児童の意欲や学習に役立つので、次回の予告等も行うとよい。</p> <p>○同じ問題でも、また(いつ頃)行うことを伝える。</p>

関連する 教科・領域等	学校教育全般
協力団体	